

弘前市民植樹祭に参加してきました！

10月4日（土）、秋晴れの下、弘前市「星と森のロマンТПピア」及び隣接する市所有林において植樹祭が開催され、署長と参加しました。弘前市では県内唯一の「SDGs未来都市」として、森林や林業への理解を深め、市民と行政が一体となってSDGsの達成に取り組んでいくため、森林での植樹体験をはじめ木育ブースでのスタンプラリーなども用意された「市民植樹祭」を初めて開催したものです。

当日は植樹サポーターとして夕方の情報番組等でおなじみの先川栄蔵さんがいらっしゃることもあり、応募は早めに〆切られ、市内の小中学生と保護者ら130人を超える多くの市民が参加しました。セレモニーでは櫻田弘前市長が「一本一本の苗木が将来にわたって大きく成長し、人と自然をつなぐ大切な存在になる」と挨拶したのち、森の手入れの一環としてスギの伐採が行われて、倒れる迫力に大きな歓声が上がっていました。

植樹活動の苗はオオヤマザクラ、イタヤカエデ、イロハモミジ、ブナの4種類の広葉樹で、親子がくわで植樹をしたあと、自分の名前が入ったプレートを掛けました。

また、会場には丸太切り体験や木を使った昆虫工作、森林の成り立ちや林業に関する知識を深めるカードゲーム「ZORINGーゾーリンー」などの体験ブースも設けられ、いずれも大きな賑わいを見せていました。



【親子で4本の広葉樹苗を植栽】



【地元大学生ボランティアにより
「ZORINGーゾーリンー」を体験】

当署では津軽白神森林生態系保全センターと連携して、地元小学生を対象とした森林体験学習を今年4回実施しましたが、こうした林業体験などを通じ市民のみなさんが林業や森林について興味を持ってもらいたいと思います。

津軽森林管理署 森林技術指導官 吉川 浩人